

### B3 テーマ設定の仕方

#### 3 オリジナル単元

(1)自分のこだわりから夢中になって追求できる課題を作ろう ～「千代田農園、野菜パワー全開！」～

第6学年1組 総合的な学習の時間授業案

授業者 学級担任 望月 康伸  
司書教諭 平松美稚子

1. 日 時 平成17年6月22日（金）第5校時

2. 活動名 自分のこだわりから夢中になって追求できる課題を作ろう ～「千代田農園、野菜パワー全開！」～

3. 活動の目標

○野菜の栽培活動を通して、命のあるものに関心をもち、命を大切にしていこうとする意欲や態度を育む。（心を育てる）

・作物を育てた、大地 水 空気 太陽 季節そして風土に対して感謝の気持ちをもつ。

・豊かな自然によって育まれる生命の素晴らしさ、愛しさを感じる。

○野菜の栽培活動に浸り込む中で、栽培している野菜への想いを深め、自分なりのこだわりから意欲的に追求を進めていくことができる課題へと発展させていくことができる。（課題設定力）

○学習の見通しをもち、自分の課題を解決し、まとめ、表現していく学習計画を立てることができる。（企画力）

○学び方の11項目の中から有効な追求方法を選択し、他（ひと・もの・こと）とかわり合いながら自分の課題を解決していくことができる。（追求力・自らかかわる力）

・栽培している野菜とのコミュニケーション。

・フィールドワーク、アンケート、インタビューなど学び方で学んだ方法を活かした追求。

・図書館、コンピュータ室の有効な活用。

・農業高校、農林水産省、地域の農業名人、友達などの“ひと”とのかかわり。

○分かったことをまとめ、工夫して伝え合うなど、表現力を身に付け、友達の発表を内容までしっかり聴き、よさを認め合ったり、自分の次の課題に生かしたりすることができる。（表現力、自己・相互評価力）

○栽培、収穫、販売という一連の活動や国語・理科・家庭科・保健など教科との学びの行き来から、自分の食生活と健康について考え、食が命を支えていることに気付くことができる。（生活に生かす力）

#### 4. 教材解釈(活動について)

6年部は、前期の総合的な学習の時間約60時間を使った活動単元として「千代田農園、野菜パワー全開！」を設定した。この総合的な学習の時間と3領域での指導・図書館利用指導や情報教育間での学びの行き来を有効に図りながら、学年研修テーマの「自分のこだわりをもち、高まり合っていく子」の具現化を目指していく。

「千代田農園、野菜パワー全開！」は、栽培する野菜選び・野菜の栽培・テーマの追求・収穫・販売・まとめ（発信）の場面で構成する。それぞれの場面で、共通体験を設定することで、個々の異なる追求がかかわりをもって高まり合っていけるように心がけていく。共通体験としては、農業高校での学習（2回）、野菜の栽培活動、農林水産省（関東農政局）の出前授業を行う。

・農業高校での学習…4月28日と5月12日の2回実施。4月28日の学習内容は、別紙資料の通り。5月12日の学習は、2グループに分かれて実施。

5月12日 きゅうり・トマトを栽培する児童は、農業高校2年生とペアを組み、下葉刈や腋芽除去（えきがじよきよ）、誘引などの実地指導を受けた。

その他の野菜を栽培する児童のグループは、作物がよく育つ土の様子についての講話と実験、

光合成に関連した実験を通して、土作りの大切さを学んだ。

- ・野菜の栽培活動…5月13日のマルチシート敷き、苗の植え付けからスタート。その後、水遣り、虫のたまご取りや支柱たてなどの世話を続ける。農業高校で学んできたことや図書館の資料を利用して調べたことを活かして、敷き藁をしいてみたり、虫除けにアルミホイルを活用したりと個々の工夫した取り組みの姿も見られる。
- ・農林水産省の出前授業…6月13日2校時に実施。野菜への関心を高める導入から、野菜クイズにより野菜の種類分けの方法を学び、野菜の旬と栄養をテーマとした講話から食が健康・命に繋がっていくことを学ぶ。

この活動单元では、命あるものに関心をもち、命を大切にしていける意欲や態度を育むこともねらっている。命を意識しての活動ということで、5月13日の栽培活動のスタートから、自分の栽培する野菜とのコミュニケーションづくりが大切になってくる。毎朝の水やりや下葉刈りや腋芽除去の世話、支柱たてや誘引など常時活動での野菜とのかかわりを大事にしていく。学校園での栽培は、その活動の時間が確保できることから有効だと考えられる。栽培活動と平行して行うテーマの追求活動が、本活動单元のもう一つの柱となる。栽培活動に浸り込んでもらったこだわりを課題へと発展させて追求を進めていく。その課題の決定の場が本時の学習となる。それぞれの活動の振り返りの積み重ねから、自分の深めて行きたい課題を見つけていけるよう支援していく。

## 5. 活動における児童の実態

子どもたちは、総合的な学習の時間の食農教育の栽培活動として3年時、4年時に麦を、5年時には米を栽培している。野菜作りは、2年生のとき生活科で一鉢栽培として育てて以来となる子どもが多い。

3～5年生の栽培活動は、農家の方の田畑を借りての活動であった。田畑へは、時間を設定しては出かけるものの校外での活動であるため、自分で時間を見つけて世話・手入れをすることは、日常的にはできにくかった。校内の学校園で麦や米を栽培したり、バケツ稲作りをしたりして継続的な世話や観察ができるように工夫して取り組んだが、実際の田畑のものとは違いもあり、追求の意識をつなぐ難しさもあった。今回の野菜作りは、学校園での栽培で、しかも、教室からもその様子が見える位置関係にあるので、自分の野菜に継続的に働きかけやすく、追求の意識もつながりやすいと考えられる。

5月13日の植え付け以後、毎朝、多くの子どもが畑に向かい、水遣りをする姿が見られる。自分のすいかの苗にホットキャップ(簡易ハウス)を作ったり、丈が伸び始めたトマトに支柱を立てたりする世話を自分で進んで行う姿も見られた。また、きゅうり・トマトグループの子どもたちが、農業高校で習ってきた「ガムテープで葉に付いた虫の卵を取る方法」を用いて世話している様子を見て、自分の世話にその方法を取り入れるなど、友達同士のかかわりも生まれ始めている。

きゅうりを栽培している子どもの中には、開花した花の根元に小さなきゅうりができているのを発見し、嬉しそうに友達と会話を交わしている姿が見られたり、種から栽培に挑戦しているトウモロコシが、何度も何度も、その種を食べられながらようやく発芽に成功し喜び合っている姿が見られたりと野菜づくりが学校生活の一部として定着してきている。

課題を設定し、追求、まとめを行い、発信していく活動は、司書教諭による学び方の学習を中心に、3年時より積み重ねてきている。インタビュー、フィールドワーク、ポスターセッション、白書づくり、新聞作り、論文作り…と追求、まとめ、発信の経験の幅が豊富である。6年時の追求でも、活動单元の構想の中に、司書教諭による「学び方」の指導の時間を位置づけ、より幅広い方法で、自分の設定した課題の追求に励んでいけるようにする。

様々な方法で追求を進めてきた経験をもつ子どもたちは、野菜栽培の経験を活かし、強くこだわり、ほれ込んだり

だ課題を設定できれば、友達と高め合いながら、夢中になって追求することができるであろうと期待している。

## 6. 研修テーマとのかかわり

☆研修テーマ 「夢中になって追求する子」 ～教科の基礎・基本の力と学びの行き来を生かして～
★総合的な学習の時間研究テーマ 農業生産体験、食体験等の本物体験を通して、ひと・もの・こととのかかわりながら、命の大切さを知り、夢中になって追求する生きる力のある子を育てる。
◇学年研修テーマ「自分のこだわりをもち、高まり合っていく子」 手立て ・教材との出会いの場で、たっぷりと浸り込ませ、自分なりのこだわりをもたせた上で、練りあいの場を設け、かかわりを深めさせる。 ・他とのかかわりの中で、話す・聴く・書く・調べるなど学びの基礎基本の徹底を図る。 ・子どもを見つめたり、振り返ったりする場を大切に、その子の良さを発揮させる支援を心掛ける。

6年部は、夢中になって追求する姿を生むためには、子どもたちが、自分のこだわりをしっかりとつことが必要だと考えた。そして、どんなときに自分なりのこだわりが生まれるのかを考え合った。そして、こだわりは、対象に対しての想いが膨らみ深まった場面のできるもの。ものとのかかわりの中で、強い印象を受けたときに生まれるもの。ではないかと考え、教材との出会いの場を大切に、その教材にたっぷりと浸り込ませる活動の場と時間を保障することに努めることにした。

本時では、これまでの自分なりのこだわりを基にして追求テーマを設定する。4月から、これまで、個々が追求していくテーマが“追求に値するような価値ある課題”となるよう、様々な共通体験の機会を設定したり、野菜栽培に浸り込める時間を確保したりして自分なりのこだわりが生まれるように実践してきた。野菜の栽培活動を通して、自分が何にこだわってきたのかがより明らかになるように、それぞれの活動の振り返りを一覧表にまとめ自分の実践とその時の思いや疑問を整理することを行ってきた。その一覧表をもとに再度自分の活動を振り返ることで、テーマの決定に役立てていきたい。

こだわりから生まれた追求テーマが確かなものであれば、子どもたちは、自然とひと・もの・こととのかかわり合いながら解決へと向かっていこう。課題設定後は、友達の追求も意識して、そのよさを取り入れながら、互いに高め合い合っていくよう、情報交換の場の設定などを工夫していきたいと考えている。

教科の基礎・基本の力と学びの行き来は、理科の「生物とかんきょう」の単元を野菜栽培と平行して行ったり、野菜の手入れの経験を生かしながら、命の大切さ・尊さを国語「生き物はつながりの中に」からも感じ取ったりしながら、それぞれの学びが膨らみのあるものになるように進めている。また、図書館利用指導で得た、学び方の11項目を有効に活かして追求を進めていけるように、本時の授業は、司書教諭とのT. T.で行うことにした。司書教諭には、追求テーマが決定した子どもたちが計画作りを行う場面で、子どもの追求がスムーズに進むように支援していただく。

かかわりとして、課題設定を行う場面での座席について考えた。同じ野菜を育てている子どもを集めた座席。自分の育てている野菜から始めたウェビングで似た疑問を作った子ども同士を集めた座席。など、かかわりを生もうかとも考えた。しかし、同じ野菜を育てている子ども同士のグループだと、栽培を通じての仲間意識から追求テーマが友達のものへと流されるのではないかなど、そのかかわりが、逆に、自分なりの追求テーマの設定の妨げになるのではと考えた。そこで、本時は、日常の座席で授業を進めることとした。同じ野菜で違う追求を進める子どもがいたら、栽培時のかかわりでの情報交換で互いの追求の情報が行きかうことで幅が広がることも期待する。

上記のような手立てをうち、子どもの想いをつないでいくことで、子どもたちの「夢中になって」追求していく姿の具現化をはかっていきたい。

#### 7. 単元全体におけるテーマ具現のための手立て(別紙資料)

#### 8. 本時の目標

本時までの体験から生まれた“こだわり”から、自分の「追求テーマ」を決定することができる。(本時の主目標)  
どのように追求していくか学習計画を立てることで、自分の課題解決の見通しをもつことができる。(次時までの目標)

#### 9. テーマ具現のための手立て(授業構想)

本時は、これから進めていく個人追求のテーマを決めていく授業となる。個々がテーマを決め追求活動を行うので、37人の37通りの追求の姿がある。37人一人ひとりにできるだけたっぷりとかかわり、じっくりと対話しながら支援していきたい。そのために、これまで「千代田農園、野菜パワー全開！」の学習を共につくってきた司書教諭とのT. T. 授業の形式で学習を構築していく。課題づくりでつまずいた子どもへの支援を担当が、学習計画づくりでつまずいた子どもへの支援を「学び方の学習」を指導した司書教諭が支援することで、教師と子どものより多くのかかわりがもてると考える。

まず、本時の学習の全体像を説明する。これから始まる10時間の追求の課題をつくること。そして、10時間の学習計画(追求の計画)を立てること。その計画には、3つの調べ方を組み合わせて入れること。の3点をこの場で確認する。同一テーマの友達との共同追求の経験が多い子どもたちにとって、自分の力だけで課題をつくり、計画を立て、見通しをもって追求を進めることは、ハードルが高いかもかもしれないが、「くすの木ソーラン2005完全版」を完成させた子どもたちならばきっとできるだろうと信じて挑戦させていきたい。自信をもって、ハードルへと立ち向かうために、これまで、個々のこだわりをはっきりさせる活動を行ってきた。課題(追求テーマ)をつくるためには、個々のこだわりが深まり、はっきりとしていることが必要条件と考えたからだ。野菜の栽培活動を柱に、多くの共通体験を組んできた。そこでのひととのかかわりや経験が、個々のこだわりを生み、深まりをもたせることに活かされていることを期待する。

深まったこだわりをもった子は、課題をスムーズにつくっていきだろう。担当が3つの調べ方を組み合わせて追求できるものかを確認して、学習計画づくりへと向かわせる。(←A児・B2児)

これまで、自分のこだわりが移ろいだ子、深まりきれなかった子は、本時は、課題づくりを最終目標とする。振り返りカードや自分の栽培している野菜からのウェビングを基にして、担当が個々との対話をしながら、心の中にある想いを引き出しこだわり・課題へとつなげていきたい。(←B1児・C児)

課題ができた子どもは、見通しをもって追求を進めていくための10時間の学習計画づくりを行う。ここでは、司書教諭が中心に子どもを支援していく。3つの調べ方(読んで調べる。人に聞いて調べる。自分の目で調べる。)を組み合わせての計画づくりにこれまでの総合的な学習の時間を中心に付けてきた力が表れることを期待している。

学習の最後に、振り返りの時間をもつ。決定したこと、困っていることなどを簡単に発表し合う情報交換の場をもった上で、友達の活動と比べながら自分の活動を振り返らせていく。

これまでの、農業高校での学習、関東農政局の出前授業などの共通体験や野菜栽培、個々の世話など4月からこれまで野菜作りに浸ってきたことが、子どもたちのこだわりを深め、夢中になって追求できる課題づくりへと繋がりが、子どもたちの表情が生き生きと輝くことを期待している。

10. 本時の展開

学習活動と予想される子どものあられ	○留意点・◎手立て・◇評価基準			
<p>今日は、これまでの学習の中から生まれた疑問を基に、詳しく調べていきたい課題(テーマ)を決定します。課題が決まったら、学習計画を立てます。</p> <p>これまでの振り返りを見なおして、自分が問題にしてきたことは何かをはっきりさせよう。(こだわりの確認)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月からの学習を振り返りカードで振り返る。</li> <li>・ウェビング表から今の興味の方向を確かめる。</li> <li>・掲示物を参考に自分のこだわりとのつながりを考える。</li> <li>・友達の振り返りカードとつなげて自分のこだわりを深める。</li> </ul>	<p>○本時の学習の流れについて説明する。</p> <p>◎学習計画を立てるときに使用する学習計画表について説明する。10時間の追求の中に3つの調べ方(読んで調べる・人に聞いて調べる・自分の目で確かめる)を組み合わせて入れることを確認する。</p> <p>◎振り返りからこだわりが確かめやすいように振り返りカードを用いて学習全体を振り返る。</p> <p>○担任と司書教諭は机間指導して、個々のこだわりが明確になっているか確かめる。</p>			
<p>自分のこだわりから、夢中になって調べていくことができる課題(テーマ)を決めよう。(目標1) 課題(テーマ)が決まったら、どんな方法で追求を進めていくのか、学習計画を立てよう。(目標2)</p>				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; padding: 5px;">自分のこだわりが、はっきりしない。困ったなあ。 C</td> <td style="width: 33%; padding: 5px;">こだわりから課題ができた。学習計画もできそうだ。 A</td> <td style="width: 33%; padding: 5px;">こだわりはあるけど、どんな課題にすればいいの。B1 課題を追求する方法に迷うな。 B2</td> </tr> </table>	自分のこだわりが、はっきりしない。困ったなあ。 C	こだわりから課題ができた。学習計画もできそうだ。 A	こだわりはあるけど、どんな課題にすればいいの。B1 課題を追求する方法に迷うな。 B2	<p>◎こだわりが明確になったら青帽、課題ができたなら白帽にして、進捗を確かめやすくする。</p> <p>◎CとB1の児童には、担任が支援する。</p> <p>◎B2とAの児童には、司書教諭が支援する。</p> <p>○自分の課題ができた段階で担任か司書教諭に報告して、追求が可能か確認し合う。</p> <p>○担任は、帽子をかぶっていない子、青帽の子への支援を優先させて行う。</p>
自分のこだわりが、はっきりしない。困ったなあ。 C	こだわりから課題ができた。学習計画もできそうだ。 A	こだわりはあるけど、どんな課題にすればいいの。B1 課題を追求する方法に迷うな。 B2		
<p>Cの児童への支援→振り返りカードを基に対話する。 自分が一番一生懸命にやってきたことは何だろう。 自分が今困っていることは何だろう。 自分のこだわりが見えてきたら、そこから課題を作ってみよう。</p>	<p>◇野菜栽培に関して、自分が夢中になって調べていくことができる課題(テーマ)を作ることができる。(目標1) (目標2については、次時までには達成する。)</p>			
<p>B1の児童への支援→対話でつまづいている箇所を探る こだわりが広すぎるね。そのこだわりの中で一番知りたいのは、 こだわりを文章にするのが難しいんだ。一緒に考えてみよう。</p>				
<p>B2 Aの児童への支援→「学び方の学習」の資料へ返る 3つの調べ方を組み合わせて説得力を高めよう。 それぞれの調べ方をくわしく知りたい子は調べ方のお助けカードを見て学習計画を立てよう。</p>	<p>◎「調べ方の学習」で用いた拡大資料を掲示しておき、計画作りの参考にさせる。</p> <p>◎それぞれの調べ方をくわしく説明したカードを用意したコーナーを設ける。</p>			
<p style="text-align: center;">今日の学習を振り返ってみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・決定した課題(テーマ)を発表しよう。</li> <li>・振り返りカードに記入しよう。</li> </ul>	<p>○この時間に決定できたことや困ったことを発表し合った上で、振り返りカードに記入させ、次時の活動内容を明確にしていく。</p>			